

自然をみる技

江戸時代の
大名たちも、
虫や植物な
どの自然を
観察してい
たんだな



入口入って
すぐ右へ

日本 館

1 階

V-9


好奇心から生まれる科学の眼



1


顕微鏡の第一歩

江戸時代初期

…顕微鏡が作られる前には「不思議な 」
(レンズ) で小さなものをみていた。

江戸時代中期

…西洋の文化が入り、レンズを組み合わせた
顕微鏡が作られるようになる。

にはそれぞれ
違う漢字が
1字入るよ
何の文字が
入るかな？

土井利位は  の結晶を観察した。

1832年
○華図説



印象に残った
ものを1種類
かいてみよう

日本 館

1 階

V-10





極微の世界への挑戦




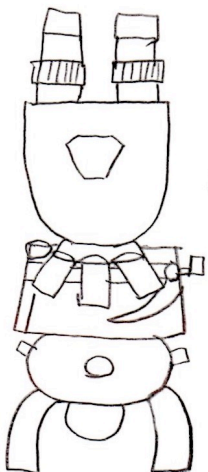
2

顕微鏡の発展により発見されたこと

團ジーン博士の位相差顕微鏡

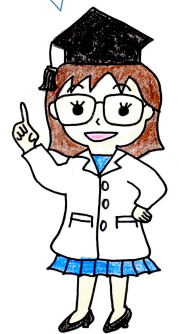
細胞を (   ま  ま) 観察
できるようになった。

 位相差顕微鏡ってどのようなところがすごいのだろう？



投影されている映像も見てみよう

展示されてい
る顕微鏡は、
日本の技術
史上において
も記念すべき
顕微鏡だよ



入口正面にある
トローン天体望
遠鏡の裏側へ



3

遠眼鏡のしくみ

5種類の遠眼鏡があるね。紙を貼り重ねて糊づけして筒にしたんだね！

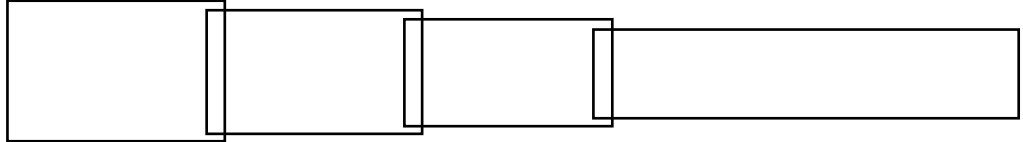


望遠鏡は（ ）年に発明され、わずか5年後に日本に入ってきた。

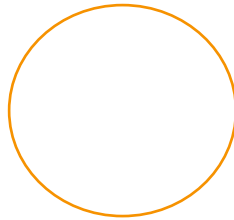


遠眼鏡分解見本を見ながら、レンズがある位置を書きこもう。

第一筒



展示されているガラスケースの右側から江戸時代の遠眼鏡をのぞいてみよう



←見えるものは、「 」



小さいものを大きく、遠くのを近くにみる技術が発展したことは、私たちの生活ではどのようなことに役立てられたらうか



感じたこと

わかったこと

考えたこと

もっと知りたくなったこと

等を書こう

年

組

番

氏名